

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	都市計画道路東町線整備事業			コード	141106	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	都市計画課	作成者	真田 健
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち			
		政策	交通網の整備	施策	道路の整備	
		予算科目	東町線整備事業費□予算なし	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等		* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	国道20号及びバイパス、142号バイパスへのアクセスと市街地を結ぶ幹線道路であり、権利者の合意を得る中事業推進を図る。		
目的	対象者	道路沿線住民及び道路利用者	
	意図	道路及び歩道の新設により、通行車両、歩行者の安全で円滑な都市交通を確保する。	

5 事業の必要性	* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由
国道20号、142号バイパスが供用されたことに伴い、アクセスする道路として現国道20号までについて、安全で円滑な都市交通の確保が必要である。	

6 事業の全体計画	* 各年度の取組計画		
予定全体事業費	円	事業期間	事業計画決定（未実施）
27年度まで	第3期事業区（今井旧道～国道20号）の事業化に向けての権利者対応		
28年度	〃		
29年度	〃		
30年度以降	〃		

7 事業の実施内容	* 各年度の進捗状況
27年度まで	第3期事業化に向けた権利者意向把握
28年度	〃
29年度	〃
前年度の課題への対応	権利者合意に向け、逐次情報把握を行い、事業化を見据える。

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度まで(累計)	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	0	0	0	0
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	用地補償及び工事請負費他			
② 人件費		400,000	400,000	400,000
正規職員の人数(人)		0.05	0.05	0.05
③ 合計コスト(①+②)	0	400,000	400,000	400,000
前年度比			100.0%	100.0%
財源	0	400,000	400,000	400,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				

●事業の評価 (CHECK)

9 事業の進捗状況

区分	26年度まで(累計)	27年度	28年度	29年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率				
その他の進捗率	67.9%	67.9%	67.9%	
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと) 都市計画道路東町線事業につきましては、平成21年度の第2期事業区間の完成により、第1事業区間と合わせて広域幹線道路、国道20号バイパスから今井旧道間が供用開始された。
	今後	(29年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること) 国道20号、142号バイパスのアクセス道路として、また、地域の土地利用のためにも第3期事業区間(今井旧道～国道20号間)の早期完成、供用が求められる。

●改善の内容 (ACTION)

10 今後の課題と対応策

今後の課題	(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、29年度以降に課題になること) 今まで強固に反対していた地権者(相続を受けた者)が一定の理解を示してきているため、継続的な交渉により、事業化を図っていきたい。
課題への対応策	(上記の課題をふまえて29年度に実施する、具体的な対応方法) 地元区や関係者とも協力しながら事業進捗を図る

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---